

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月2日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【凍土遮水壁設備の冷媒流量の偏差大警報の発生について】 凍土遮水壁設備の冷却管の冷媒送り流量と戻り流量の偏差大を示す警報が発生。 確認の結果、現場での漏えいなし、および、冷媒タンクの液位に変動なしを確認。 今後、原因を調査後、対応を検討。 設備の運転に問題なし。</p>	GⅢ	11月27日
2	<p>【1号機ミスト散水設備の空気圧縮機(A)系の故障警報発生について】 1号機ミスト散水設備の空気圧縮機の運転切替えにて、空気圧縮機(A)系を起動した際、故障警報が発生したため、運転を中止。 確認の結果、空気圧縮機(A)系の潤滑油圧力低と判明。 原因は、潤滑油の劣化、油ストレーナ及びフィルタの汚損と推定。 今後、潤滑油の交換、油ストレーナの清掃及びフィルタの交換を予定。 別系統の空気圧縮機にて運転中のため、設備に影響なし。</p>	GⅢ	11月27日